

平成 28 年度 第 3 回地域医療支援病院に関する委員会

開催日時	平成 28 年 12 月 16 日(火) 13 時 30 分から 14 時 10 分まで	
開催場所	大垣市民病院 2 病棟 1 階 会議室	
議 題	前回開催時の課題に対する報告、定例報告及び紹介率向上への取組みについて	
出席委員 (敬称略)	委員長	大垣市医師会会長 山川 隆司
	副委員長	大垣歯科医師会会長 片野 雅文
	委員	大垣市医師会副会長 沼口 諭
	委員	大垣市医師会理事 近藤 潤一郎
	委員	大垣歯科医師会副会長 萩下 雅仁
	委員	大垣薬剤師会会長 松本 正平
	委員	大垣市連合婦人会会長 竹中 昌子
	委員	弁護士 鈴木 一朗
公開区分	公開	
傍 聴 人	なし	
審議概要	<p>1. 報告事項</p> <p>1)前回開催時の課題に対する報告</p> <p>(前回開催時の課題:委員要望)OMNetの研修会をやっていただきたい。その際は、利用の多い人だけでなく、多くない人にも声をかけていただきたい。</p> <p>(事務局)OMNet に関する講習会について、利用の少ない先生方向けと利用の多い先生方向けで 2 回開催した。利用の多い先生方向けの会では活発にご意見をいたいたいので、OMNet をより良いものにするために役立てたい。</p> <p>報告事項であるが 11 月 25 日から当院のホームページにて連携医療機関の情報を公開している。ぜひ多くの人にご覧いただきたい。</p> <p>2)定例報告事項</p> <p>(1)よろず相談・地域連携課から、①紹介率・逆紹介率、②地域連携を介した診察・検査件数、③開放型病床利用状況、④救急統計、⑤地域の医療従事者に対する研修・講演会の開催状況、⑥地域連携クリニカルパス登録状況、⑦OMNet 利用状況について報告した。</p> <p>①紹介率……28 年 4 月～11 月:66.4% 逆紹介率…28 年 4 月～11 月:123.0%</p> <p>②地域連携診察件数…28 年 4 月～11 月計:8,097 件 地域連携検査件数…28 年 4 月～11 月計:910 件</p> <p>③開放型病床登録医数…28 年 11 月末:128 人(医科 102 人、歯科 26 人)、利用率…28 年 4 月～11 月:12.7%</p> <p>④救急受診患者数…28 年 4 月～11 月計:27,101 人(月平均 3,388 人) 救急車利用件数…28 年 4 月～11 月計:6,775 件(月平均 847 件) 救急入院患者数…28 年 4 月～11 月計:1,819 件(月平均 227 件)</p>	

	<p>⑤地域医療従事者に対する研修…28年4月～11月開催数:29回、 参加人数計:3,777人(院外464人、院内3,313人) ＊病診連携カンファレンス、糖尿病コメディカル研修会、がん診療委員会、 在宅対策研修、地域連携研修、薬剤師連携研究会 等 市民対象の講演会等…28年4月～11月開催数:9回、 参加人数計:248人(院外219人、院内29人) ＊市民公開講座、糖尿病公開講演会、成人気管支喘息教室、出前講座等</p> <p>⑥地域連携クリニカルパス登録状況…28年4月～11月登録総数757件 28年11月末時点におけるパス開始からの登録総数:5,927件</p> <p>⑦OMNet利用状況…28年11月末時点 利用者数:102人 患者同意者総数:11,423人</p> <p>⑧開放病床の登録医が増加した理由は、10月から診療所の先生方を訪問し、開放型病床の登録していない先生に利用を勧めたことによる。病床利用率についても、開放型病床はハードルが高いと認識していた先生も多かったが、そのあたりの誤解が解ける一助になり、開放型病床を利用される先生が増えた。</p> <p>(2)委員から、上記の報告について次のとおり意見・質問があった。</p> <p>(委員)開放型病床はよく利用させていただいており助かっているが、今回の訪問で開業医の理解が少し深まったのではと感じる。</p> <p>(委員)抜歯が必要な患者さんで開放型病床を利用してもらったところ、とてもスムーズに進んだケースがあった。少し違う話になるが、例えば夜中に救急搬送されて診療後、「今日は帰っていただけます。」と言われても帰る方法が無いという話が結構ある。状況を見て、場合によってはその患者さんのバックグラウンドも考えた上で判断をしていただけると非常にありがたいと思う。</p> <p>(事務局)当院の救急患者さんの入院率を調べたところ、岐阜県内の他病院と比べて低かった。その辺を現在調査中だが、できるだけもう少しスムーズに、各診療科のハードルを少し下げるよう、これから改善していきたい。</p> <p>(委員)開放型病床を自由に開業医の先生が使っていただけるというのも地域医療支援病院としての要件とは別として大きなことと思う。今まで満床になったことは有るか。</p> <p>(事務局)無いが、満床近くになったことはある。</p> <p>(委員)利用者は増えていると思うが、地域医療支援病院としてこれが気軽に利用されると、かかりつけ医も診療できるし、非常に良いシステムなのでよろしくお願ひしたい。</p> <p>(事務局)クリニカルパスで今年度C型肝炎と狭心症を作ったが、これは肝炎・肝硬変が0件、急性心筋梗塞も0件で全く動いていないということで、これらに対して改良を加えて出したものである。今後、動いていない肝炎・肝硬変、急性心筋梗塞、肝細胞がん術後、前立腺がんなどは削除していくことでも良いか。特に肝炎・肝硬変、急性心筋梗塞は改良型を出して、実際に動きだしたので削除しても良いのではないかなと思うが、ご意見を伺いたい。</p> <p>(委員)改良型が有れば、別に削除でも構わないと思う。</p>
--	---

	<p>(委員)心筋梗塞になってしまった人と狭心症で治療した人は、少し違うと思う。心筋梗塞は他の地域では回っているので、回せるのであれば回していただきたい。狭心症で回すのであれば、心筋梗塞と狭心症両方でのパスで、としてもらえたらと思う。</p> <p>(委員)心筋梗塞のパスというのを急性期も含めてやっていくことに対して、ハーダルが有ると言えば有る。心筋梗塞のパスに改良を加えてパスを回すというのも 1 つの方法だと思う。</p> <p>(委員)心筋梗塞に関してはパスという形ではなくて、開業医と一緒に診るということでの旨あれば良いと思う。</p> <p>(委員)提案されたとおり、この 2 つのパスに関してはずっと 0 件が並んでいるので、これは削除ということでも良いだろう、と思われる。</p> <p>(委員)パスについて医師会員の中には詳しく知らない先生もおられるし、また市民病院の先生がどの程度のことを開業医に期待しているのか分からぬ。そういった中でパスは回っているので、あらゆる機会をとおしてパスについての説明や、病院側の病気に対する考え方を医師会員の先生に伝えていただくと互いの気持ちが分かれ合える気がするので、よろしくお願ひしたい。</p> <p>(事務局)確かにパスを作るときにはいろいろ議論して作っている割には、その後の検討がなされてないので、病診連携の機会を利用して発表していきたい。</p> <p>(委員)市民病院で退院カンファレンスが行われてどこへ転院したのか、といったような報告はもらえないか。</p> <p>(事務局)地域連携課で情報は収集しているので、数値として出せると思う。</p> <p>(委員)かかりつけ医の方は興味深く見ているので、それをどこかで見える数字で出していただけるとありがたい。</p> <p>(事務局)準備ができ次第、医師会の方で報告させていただく。</p> <p>(委員)薬局としては在宅に関して前向きに考えている。可能であれば、かかりつけ薬局が無い患者さんの場合は、薬剤師会の事務局で対応させていただきたい。それで紹介できる地域を選んで紹介できると思う。そうすると退院時カンファレンスにも薬局が参加できるし、そこに薬剤部の先生も呼んでいただいて薬薬連携もできる。</p> <p>(委員)市民病院の主治医と開業医の間で、薬の質問が有った時などに直接電話したりしているが、緊急性の無い問い合わせをしたい場合に、よろず相談・地域連携課をとおして FAX で問い合わせる仕組み、やり取りをするツールなど有ると良いと思う。</p> <p>(事務局)よろず相談・地域連携課を中心として先生方の方に FAX でお訊ねするという形で良ろしいか。</p> <p>(委員)良いと思う。この薬を飲んでみえてこのようで、という形で FAX するという形で。</p> <p>(事務局)外来の診察の際にお薬手帳を持参することになっているが、忘れてみえる方も多い。検査する時も何を飲んでみえるか問題になるので、そうしていただきたい。</p> <p>(委員)OMNet に登録してあると検査や薬の処方について、開業医は分かるが、市民病院に入院されたり救急へ行った方については情報が無いので大変かなと思う。</p> <p>(委員)薬局の方でも情報提供ができるので、よろしくお願ひしたい。</p>
--	--

	<p>(委員)OMNet で講習会では要望などは有ったか。</p> <p>(事務局)改修の要望としては、検査の画面を開いたときにその画面が小さいので拡大してほしい、検査の結果では正常値の表示をしてほしい、グラフの表示機能が欲しいといったものが有った。また複数の先生からの要望として、画面を開いた時の患者一覧で、入院中の患者さんが分かるようにしてほしいといったものが有った。ただし、こういったものは大規模改修になるので、すぐに対応するのが難しい。アイフォンやマックで利用できないか、という要望も有ったが、これは画像ソフトが動かない。</p> <p>入院中の患者さんを簡易的に判別する方法としては、処置オーダーが立った患者さんは一覧の上の方に来るので、上の方の患者さんを確認することで確認できる。</p> <p>(委員)検査の画面は確かに見づらい。昔のデータは画面を動かさないと見られない。</p> <p>(事務局)作成業者も、一見簡単に見えるがこれは大きな改修になるので難しいと。</p> <p>3)紹介率向上への取り組みについて</p> <p>(1)よろず相談・地域連携課から、紹介率向上への取り組み状況について次のとおり報告した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 4月から11月までの患者さんからの電話予約件数の、全体予約の件数からの割合は5パーセント前後で推移をしている。大垣市の患者さんからの予約が圧倒的に多い。診療科別では歯科口腔外科、皮膚科、耳鼻咽喉科、小児科の順であった。 ② かかりつけ医紹介センター相談件数は、今年度4月から11月までは前年同期の173件に対して169件とわずかに減少した。 <p>(2)委員から、上記の報告について次のとおり意見・質問があった。</p> <p>(委員)患者さんからの電話予約が5%と少ない。他の地域だともっと増えている。</p> <p>(事務局)方式としては他地域と同じ方式なので、地域の特異性かも知れない。他院ではほとんど電話予約に代わったと言われた。</p> <p>2. 検討事項等</p> <p>(委員)市民病院で10月に行われた在宅医療介護連携推進事業多職種連携研究会に、たくさんの方が参加されて薬剤師会からも12名参加したが、市民病院薬剤部の先生方への案内が無かつたため参加されなかった。これは薬薬連携として、ぜひ薬剤部の先生方にもこういった勉強会に参加されたい。</p> <p>(事務局)薬剤部への連絡が回らなかった。これから気を付けるのでよろしくお願ひしたい。次回は参加したい。</p> <p>(委員)当該研究会の次回は歯科が担当なので、できたら歯科口腔外科の先生方にもご連絡されたい。</p> <p>(事務局)歯科の先生方には連絡した。</p> <p>(委員)開放型病床で、歯科医として抜歯で初めて利用があった。少しづつ進めていきたいと思うので、よろしくお願ひしたい。</p>
次回開催	平成28年度第4回は平成29年3月17日(金)に開催予定とする。